

## パブリックコメントにおいて提出された意見等及び町の考え方

通番	意見の概要	町の考え方
1	<p>まちづくり基本目標について</p> <p>①まちの将来像の実現及び人口減少社会への対応のため、「次の10年先を見据え」各分野で・・・というようにとらえる先を明示したほうが良いと考える。</p> <p>②将来像：住む人も訪れる人も「心和らぐ森町」を町内外の皆様に広く啓蒙するように対応してほしい。</p>	<p>①ご意見のとおり、「次の10年先を見据え」を追加することで対応します。</p> <p>②ご意見のとおり、将来像は目指すまちの姿であることから、議会で審議していただきお認めいただいた暁には、様々なかたちで町内外に広くアピールしていきたいと考えます。</p>
2	<p>基本の柱1 保健・医療・福祉</p> <p>保健・医療・福祉を基本の柱の第一に掲げたことを評価する。</p> <p>基本目標冒頭にある10年先は高齢者割合がピークに達する。財源が縮小する中で、地域の支え合いは大切であり、また、将来を担う子供たちを支える政策を立ち上げ実施してほしい。</p> <p>地域包括ケアシステムは、単に高齢者対策ではなく、地域づくりであることを忘れてはならない。</p>	<p>すべての町民が地域の支え合いやふれあいなどを通して、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる社会環境の整備は重要であると考えています。</p> <p>次世代を担う子供たちを支える政策の充実に努めていきたいと考えます。</p> <p>地域包括ケアシステムについては、基本計画に掲載のとおり、町民誰もという視点、また、医療や介護サービス、買い物などの生活支援までを含めた視点での構築であり、地域づくりでもあると考えています。</p>
3	<p>計画推進のために</p> <p>今回初めて民間企業の経営手法を取り入れることは評価する。森町病院においても、早くから取り入れており感心していた。しかし、この手法の基本は、PDCAと考える。新たに経営手法を取り入れるのであれば、基本を用いるべきである。</p> <p>P：計画・立案する</p> <p>D：実行・行動する</p> <p>C：確認・評価する</p> <p>A：改善・修正する</p>	<p>基本構想及び基本計画の推進にあたり、PDCAサイクルに基づいて事業構築や評価検証をしていくという方向性を追加しています。</p>
4	<p>中間組織（NPO法人等）の必要性について</p> <p>基本計画の冒頭に「中間組織」についての記述が見当たらないのは寂しい。</p> <p>基本構想の中に「地域の支え合い」の記述があり、すべての項目について「共助」が存在すると考えている。</p> <p>公的機関では対応できない部分があると思われる。支援できない部分を中間組織で支える構造が必要ではないか。</p> <p>いわゆる住民が組織を形成し、それを公的機関が支援する。</p> <p>住民・行政その他公的機関が一体になってこそ、この先10年を乗り越えられるのではないのでしょうか。</p>	<p>基本計画内の計画推進のために、4つの方策を設定しています。</p> <p>その中の3点目に協働のまちづくりの推進が謳われています。</p> <p>文面の中で、NPO法人を追加すると同時に、取組の方向の中においても、NPO法人を含めた各種団体への支援、育成という方向性を追加することで対応しています。</p>

5	<p>目標指標について ファミリーサポートセンターの運営は、袋井市に拠点を置くNPO法人に委託されていると聞いている。 森町の会員もわずかに登録されているようであるが、町内南部の一地域での利用ではないかと思われる。 現在のファミリーサポートセンターを支援するのではなく、町内において立ち上げを促し支援すべきと考える。</p>	<p>ファミリーサポートセンターは、袋井市と森町で共同で設置しており、利用者からは好評を得ています。しかし、ファミリーサポートセンターの認知度が低いため、広報やホームページなどで情報提供をするとともに、利用促進を図っていきたいと考えています。 森町単独での事業の実施については、利用者ニーズや運営体制等について、研究・検討を進めていきたいと考えています。</p>
6	<p>関連計画について 中遠広域都市計画道路変更（案）が静岡県より公表された。これは袋井ICと森掛川ICを結ぶアクセス道路となっている。この道路の構築により、中川地区をはじめとする森町南部の環境は大きく変化すると考えられる。 内陸フロンティア構想と併せて記述すべきと考える。</p>	<p>基本計画の現況・動向内に「また、安定した産業基盤の確立と地域の活性化のため、新東名高速道路森掛川インターチェンジと東名高速道路袋井インターチェンジを結ぶ都市計画道路森町袋井インター通り線の整備促進が求められます。」を追加しています。</p>
7	<p>産業振興について 4年後の東京オリンピック。主会場は木材を主体とした構造となる。国は木材の需要を高めるため、振興対策を打ち出してくると思われる。「森林認証」を受け、木材の需要を高めるための講座・講習を増やしていきたい。 集合木材を使用した住宅支援、チップ材を利用した歩道・公園整備、炭焼き小屋の復活等の支援を項目に追加してほしい。</p>	<p>基本計画の施策の方向内に「森林認証を活用し、地域材の利用拡大を推進します。」と謳っており、また主な事業としても同様に掲載しているので、事業の検討や実施時に、いただいたご意見を参考にさせていただき、対応していきたいと考えています。</p>
8	<p>森町地域防災計画について 昨年暮れに発生した新潟県糸魚川火災事故。木造家屋が密集し道路が狭く、消火活動に遅れたことは記憶に新しい。 森市街地(明治町から本町)においても、同様な火災事故が発生してもおかしくない。 まちづくりの基本であるインフラ整備は道路であり、新田赤松線の早期整備を望む。また、下水道整備と都市計画道路との整合性をはっきりと示してほしい。 近年、防災計画の中に、電力・通信設備を地中化するよう答申されている。「小京都森町」を強調し、防災を高めようとするのであれば、考慮してもよいのではないか。</p>	<p>○基本計画の主な事業内で、都市計画道路の整備を掲載してあります。路線ごとには掲載できませんが、新田赤松線も含めての整備という意味合いで考えています。また、下水道整備との関係については、事業を実施する際に難しい面もありますが、可能な限り整合性を図っていきたいと考えております。 ○森町防災計画の見直しを実施する際に、いただいたご意見を参考にして検討していきたいと考えます。</p>
9	<p>企業誘致もしくは3セク方式によるバイオマス発電所について ・間伐材、製材くず、建築廃材、家庭や事業所排出紙等をバイオマス発電所に持ち込む。その際に、輸送費等の補助をする。 ・苗木購入補助をし、皆伐→広葉樹へ、しいたけ原木・薪ストーブ燃料等販売をする ・バイオマス発電所の誘致により、①環境教育、②町のイメージ向上につながる。また、廃熱を利用して、入浴施設や温水プールの建設にもつながる。 ・地元雇用、電力会社への売電、電気自動車によるお年寄りの送迎サービス、電気自転車・電動バイクのレンタルにより観光の活性化にもつながる。</p>	<p>バイオマス資源の活用は第8次総合計画同様に、引き続き推進していきたいと考えています。 基本計画に掲載したとおり、さまざまなバイオマス資源の循環利用を促進し、地球環境に配慮した循環型社会の形成に努めていきたいと考えています。 バイオマス発電所の誘致につきましては、企業誘致や雇用確保面においても効果があると考えられますので、今後、調査研究をしていきたいと考えます。</p>

10	<p>①地域の継続的發展に不可欠である「子どもたちの教育」に関して各自治体では、ＩＣＴ教育に力を入れておりますが、森町では具体的な方針・スケジュールが掲載されていません。</p> <p>「子どものＩＣＴ教育の遅れ」が、子育て世代の転出そして人口減少を助長することにもつながります。</p> <p>②森町のキャッチフレーズについて</p> <p>袋井市 「活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市」</p> <p>磐田市 「力強く挑戦する磐田！！市民第一、現場第一、行動第一」</p> <p>森町 「住む人も訪れる人も心と和らぐ森町」</p> <p>各自治体のキャッチフレーズの中にこそ、元気・希望・ビジョンがあると思いますので、町民に募集してみたいはいかがでしょうか。</p>	<p>①基本計画の施策の方向で、「国際化・情報化に対応し、国際理解を深める教育やインターネット等を活用した教育を推進します。」と謳っております。また、主な事業として、情報教育推進事業を掲げています。</p> <p>現時点において、具体的なスケジュールはお示しできませんが、今後、総合計画を推進していく中で、取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、基本構想及び基本計画を推進していくため、新たに情報通信技術（ＩＣＴ）の活用推進を掲げていますので、今後、積極的に利活用するとともに効果的な情報発信に努めていきたいと考えています。</p> <p>②総合計画の策定につきましては、様々な手段（まちづくり検討会、町民アンケート調査、町長と語る会等）を実施する中で、町民と行政との協働作業を進めてきています。</p> <p>この中でいただいた意見や提言を参考にして、将来像を検討してきた経緯もありますので、現時点においては町民の皆様からの募集については考えていません。</p>
11	<p>まちづくり検討委員会の内容を取り入れた構想案及び計画案作成いただきありがとうございます。しかし、残念なのは森町を知ってもらう情報発信の項目がなかったことです。情報の発信元が住民個々であるとしても、それを盛り上げたり、サポートすることを計画に盛り込んでほしいと要望します。</p> <p>次に、現実的な実行案を提案します。</p> <p>①遠州森町ＰＡに高速バスの停留所を設置する</p> <p>構想案に、新東名高速道路の開通による利便性の向上がうたわれています。スマートインターができ、車での移動は大変便利になりました。しかし、都内等、車で行くには不便な場所へのアクセスには不十分である。</p> <p>森町からは都内へは天竜浜名湖線を経由して掛川駅からＪＲに乗るか、もしくは東名高速バスを利用するしかありません。しかし、平成23年から新東名を経由した東京～名古屋への高速バスが現在９便／日あり、遠州森町ＰＡが休憩所になっています。遠州森町ＰＡが高速バスの停留所になれば、場合によっては新幹線を利用するより早く、都内に到着することができるかもしれません。これは、森町へ企業を誘致するにも大きなツールになることは間違いありません。</p>	<p>情報発信につきましては、町長と語る会やまちづくり検討会等で数多くの町民の皆様から積極的な情報発信というご意見をいただきました。</p> <p>そのようなことを踏まえて、今回の第９次森町総合計画においては、情報発信を大きな柱の一つとして位置付けたところであり、また、基本構想及び基本計画の推進のために、新たに情報通信技術（ＩＣＴ）の活用推進を追加したところであります。</p> <p>第８次総合計画と比べると、情報発信の重要性を反映した計画となっています。</p> <p>高速バスの停留所につきましては、ご意見のとおり、利便性の向上や企業誘致活動の一助となることも考えられます。</p> <p>しかしながら、町単独で実施できるものではなく、バス会社、県及び沿線市町、ネクスコ中日本等との協議など、調整を要する事項は多々あるものと考えます。</p> <p>現在、県主催の「新東名バスストップ勉強会」に参加していますので、引き続き、調査研究していきたいと考えています。</p>
12	<p>森掛川インター周辺の都市計画について</p> <p>具体的な企業誘致や住宅地の造成を早期に進めてほしいです。</p> <p>農地の耕作放棄地も目立つようになり、有効的な活用を強力に推進し、産業の活性化と人口の増加を目的に、求めている企業を積極的に探すことを求めます。</p>	<p>森掛川インターチェンジ周辺は、内陸フロンティア推進区域として指定を受けています。地方創生の推進、人口減少対策として、施策の方向内に住宅用地の確保や企業立地環境の整備、企業誘致活動の強化を図ることを掲載していますので、今後も土地の有効利用及び内陸フロンティアの推進に努めていきたいと考えています。</p>

13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の面では周辺市町に遅れを取っていると思います。</li> <li>・内陸フロンティアで企業誘致をされていますが、どんな企業がどこに来てくれたのか、あまり町民に知られていないのではないのでしょうか。</li> <li>・そのため、森町内の事業所に就職するチャンスがあったとしても、見逃していることも多いのではないのでしょうか。</li> <li>・新東名の開通や遠州森町PAスマートインターの開通で、観光面に大きな変化があると思っていましたが、あまり変わっていないように思えます。遠方から来町する人は増えているはずなので、何か工夫が必要と思われます。</li> </ul>	<p>当町では昨年12月に企業立地や雇用促進を目的としたウェブサイトを立てています。その中で、企業への支援策、空き用地情報、企業紹介などを掲載しています。また、町内の企業紹介では採用情報も盛り込んだ内容となっています。新東名の開通に伴い、観光入込客数は増加しています。基本計画にも掲載していますが、地域資源をいかした観光振興を図るとともに、まちなかの回遊性を高め、観光客が長時間滞在するような取り組みを関係団体とも連携を図る中で検討していきたいと考えています。</p> <p>併せて、町の魅力やさまざまな情報を広く効果的に発信していきたいと考えています。</p>
14	<p>森町は町並みと蔵展や、ぷぶふの日などのイベント、地域おこしや活性化などコミュニティの力を活かした活動を数多く行っていて、周辺市町村の方から、「森町はすごいね」という声をたくさんいただきます。</p> <p>しかし、有志を募った任意団体や地区のボランティアで活動していることが多く、個々の団体のつながりが希薄に感じます。横の連絡を取り合ったり、協力できる体制が整えば、さらに活動が活発になって森町を盛り上げていくと感じます。</p> <p>そこで、役場をお願いしたいのですが、どのような団体が、どのような趣旨で、どのような活動を行っていて、どこに連絡すればいいのか、リストを作っていただけないでしょうか。</p>	<p>協働のまちづくりを推進してきた中で、さまざまな団体やボランティア団体の活動が活発化して、協働の輪が大きくなってきていることは大変喜ばしいことだと思います。</p> <p>一方で、ご意見のとおり、横の連携や活動のリーダーとなる人材の育成などが課題となってきています。</p> <p>このような中、県と共催し、森町に拠点を持ち、まちづくりに関わる活動をしている団体を対象としてまちづくり団体交流会を開催することになりました（29年2月22日）。日頃の活動紹介や情報交換を通じて交流を深めていただくことを目的としています。</p> <p>こうした交流会の開催等を今後も実施していく中で、団体同士の連携を深めていただくと同時に、リスト作成も可能な範囲内で対応していきたいと考えています。</p>